



東京赤坂ロータリークラブ

No.1062/2009.10.2

例会/毎週金曜日12:30

例会場/ANAインターコンチネンタルホテル東京
Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052東京都港区赤坂2-19-8

赤坂2丁目アネックス3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

akasaka-rotary@w8.dion.ne.jp

http://www.k5.dion.ne.jp/~akasaka

Weekly Report 東京赤坂ロータリークラブ週報

「かけがえのない親睦を享受し、他者のためにつくす」

2009～2010年度・東京赤坂ロータリークラブテーマ/四分一勝 会長

●本日の例会/2009年10月2日 第1086回 例会

卓 話

「環境問題を考える — 地球温暖化ガス25%削減のために」

当クラブ会員 松永 秀和 君

— ●前回報告/2009年9月18日 第1085回 例会 —

第3回クラブ協議会

テーマ『クラブ財政改善の件』

親睦活動委員会：(橋本委員長)

火曜会を10月6日(火)にANAインターコンチネンタルホテル36階で開催いたします。今回は村山会員の2回目のイニシエーションスピーチですので、多数の参加を願います。なお今回からホテル室料に参加者の皆様のご負担とさせていただきますのでよろしくお願いいたします。負担のメドは、一人500円～1000円となりましたので、経費削減のうえ皆様のご協力をお願いいたします。



出席報告：(順不同・敬称略)

会員48名/出席28名・欠席20名(出席規定免除者6名)

ゲスト/阪本洋

計1名

ビジター/銭高久善(東京RC)

計1名

第3回クラブ協議会

日 時 2009年9月18日(金) 例会後 13:00 ～ 14:40

場 所 ANA インターコンチネンタルホテル B1階「オーロラ」
出席者 四分一、西澤(民)、荒木、柴本、渡部、武下、大日方、吉田、二宮、入沢、小原、村山、高須、庄司、岩上、石井、尾上、松本、内田、鶴間、橋本、飯島、内田、長谷川(弘)、岡澤、佐藤(雅)、松永(記)(順不同、敬称略)

財政改善特別委員会より「クラブ財政改善に関する答申」の提出を受け、またクラブフォーラムでの説明を経て、財政問題の解決について会員の意見を集約し、方向を決めるべくクラブ協議会が開催され、西澤幹事の司会でスタートした。

1. 会長および特別委員長挨拶

まず、四分一会長から「一刻の猶予も許さない問題であるので、全員の団結と協力、熱意で解決してゆきたい」と挨拶があった。次いで、荒木財政改善特別委員長から特別委員会の目的や構成、検討経過について報告がなされ、理事会に提出された答申の内容について、単年度会計の問題点、基金会計の状況と会員増強、不足分補填を中心に概

要説明があった。

2. 支出抑制の具体策

松永委員より例会費、事務所経費、委員会経費のそれぞれについて具体的な支出抑制策が案内された。例会費は、食事を弁当に替たり、奉仕活動の一環として移動例会を実施したりすることでの削減。事務所経費は事務局の移転や印刷物・通信費節約。そして委員会経費は週報の自家作製、親睦活動費の参加者負担、卓話謝礼の減額などが提案された。(詳細は配布資料参照)

3. 特別寄付と会員増強の要請

飯島委員より、予想される欠損金230～250万円を埋めるべく、会員から任意で寄付金(一口5万円で2口以上)を募ることの提案がなされた。原則は任意であるが、3年以上の会員、特に過去の理事・役員経験者は率先して協力してほしいとの要請がなされた。

次いで、岩上委員(増強委員長)より、過去5年で退会者が33名もあり新入会員を上回っているため退会防止に努めたい。また、若手会員を中心にクラブ紹介に力を入れてゆくとともに女性会員を増やすとの増強方針が述べられた。

4. 質疑応答・自由意見

以上の説明・案内の後、参加の会員より活発な質問や意見が出された。なお、土屋会員からは会費値上げで対応してはどうかとの事前メールが紹介された。

西澤幹事:岡澤会員を中心に若い方20名ほどのゴルフコンペを予定しており、参加者に対して勧誘を行う。事務所移転はすぐしたいが資料が多いので協力が必要。

内田会員:フォーラムで出たものを具体化したもので、これを実行に移せばよい。

高須会員:卓話謝礼は1万円程度に下げるが、更に返金されるよう働きかける。移動例会は準備などが大変。

大日方会員:支出抑制策については、理事会で予算を組み替えて実行すればよいのであって、会員に何いを立てるべき事項ではない。任意寄付だと、払った人とそうでない人の間にわだかまりが生じ、例会出席が少ない会員はこの機に退会する恐れがある。その点、預託金案は全員が対象だし、会員を勧誘すれば返還されるので経済的な負担は少ない。会員増強はもっと会員に義務感を感じさせても良い。理事会はもっとしっかりと欲しい。

松本会員:会社でも経費節減から行っており、冗費節減は大賛成。本日の配布資料でも、片面しかコピーがされていない。両面コピーであれば紙代が半になる。寄付はそれをしてから。配布資料も郵送でなく、例会場に取りに来させるクラブもある。

尾関副会長:例会費や事務所経費の削減はすぐには対応できないので、11月にキャッシュが不足することはほぼ確実で、特別寄付でしか対応できない。会費値上げは別問題であり、その際は値上げ対価を考える必要がある。経費節減のための移動例会はロータリーの精神でない。例会と奉仕活動は分けて考えるべき。メークアップに来た人にも迷惑が



かかる。退会者が出るくらいの大きな改革で、大幅な増強が必要となる。残り時間が少なくなる中、早急な実行を望む。

佐藤(雅) 会員: 寄付金を求めるのは3年以上の会員に限るのでなく、入会したらもう仲間なのだから、差別せず全員に声をかけるべき。

渡部会員: 財政問題は何年も前から課題であり、今回の提案は具体的に良い。財政問題は「人、物、金」の全体で考えるべき問題。会計はクラブの運営上重要な役割。またリスク管理も必要で会計を第三者レベルでバックアップする監査機能が必要である。10数年前からホテルの費用値上げ問題があり、厳しい状況だが成功を祈る。

柴本会員: 中長期のクラブ運営を見てゆくアドバイザー委員会があったが充分機能していなかった。情報が入ってこなかったこともあるが、反省すべき点がある。当クラブはチャレンジパワーがあるので、誇りを持って大きな目標に取り組むべき。実行案を見るとチマチマしたことが出ている。移動例会は大変だし、例会場はこのホテルにすべき。年に何回は奉仕活動で外へ出るのも良いが、毎月ではメイクアップなどの問題がある。食事内容を変えるなど何とかして現会場で続けてもらいたい。家賃は他クラブとの共同利用を志向すべき。この困難を乗り越えるは、全員一致で寄付金を出し、会員増強に当たる以外ない。新入会員でも寄付金の申し出あったのは嬉しい。納得づくで理事会決定をみて、早急に実施に移して欲しい。

四分一会長: 食事内容を変えただけでは目標とする削減額には達しない。移動例会で更に費用削減するが、それとあわせてこれまでの例会のあり方も検討しようというものだ。本日の例会前の特別委員会でも議論が出たが、月1回にこだわってはいないし、また別の例会の形も模索している。当初は四半期に1回程度ホテル以外で奉仕実践のための例会ができればよいと考えている。9月の理事会で答申を受け、フォーラムや協議会を通じて会員に認知してもらい、意見を集約してきた。10月の理事会で具体的な財政改善策を決定し、速やかに実行に移す。

武下会員: 寄付金で資金ショートを埋めるのか、それとも基金の積み増しを行うのか。また、半期ごとに集めている会費でも不足するのか。

荒木委員長: 寄付金は11月中にも起きると予想される資金ショートを防ぐためのもの。今年度限りのもの。基金の積み上げは新入会員の入会金を当てる。今年度上半期の会費分だけでは年間の地区分担金の支払いや従来の金額での例会費などのため11月に資金ショートになる。

尾上会員: 寄付金を集めても、何年後にまたショートすることはないのか。

荒木委員長: 今年度乗り切ると、支出抑制案が実行できると来年度以降は、収支は単年度でバランスするので、ショートすることは無い。

岩上委員: 会費の中から食事代以外にも地区分担金や事務所経費を支払っているの、会員が50名を切るとクラブ運営は困難になる。会費を値上げするか、会員増強で80名体制にするかしら解決策はない。ただ、100%出席だと赤字になる。

二宮会員: 「入るを測り、出るを制する」でバランスのとれた運営が望ましい。22年前から80人体制といていたが、減る一方だ。退会防止として新会員へのケアが大事。

橋本会員: 地区積立金からの借入金はできないのか。

四分一会長: 2750 地区全体の問題なので、今年度にガバナーが決めることは困難。

武下会員: 寄付金の集め方が問題。支払った人とそうでない人、払った額の差でわだかりが出ないように。

荒木委員長: 全員に寄付を呼びかけるが、支払や額については強制できない。

尾上会員: 寄付金は経費になるか。

入沢会員: 法人だと交際費となり、経費処理が可能。例会の質を落とさないようにすることが大事で、そのためにはある程度外に出ることはや



むをえない。ただし、多いと例会の魅力がなくなるので若干である。また、卓話謝礼も少ないと依頼者が頼みづらくなったり、差額を自己負担したりすると、卓話の質も落ちる。早く始めないと出てゆくものを押さえられないし、皆さんにだいたい理解していただいているようなので、この案で早く実行して行って欲しい。ただし、例会場と卓話の質を落とさないように気をつけて欲しい。

最後に尾関副会長から、「この重大事項についてほぼ理解は得られたと思うが、寄付金の集め方など更に検討し、10月の理事会で決定したい」と総括があり、協議会を閉会した。

1. 9月18日クラブ協議会テーマは「クラブ財政問題について一財政改善の実行案一」とすることを承認。
2. 台湾台風義援金は、国際奉仕委員会により、9月11日、18日の例会時に寄付ボックスを受付に設置。集まった金額を寄付することとする。
3. 事務所更新の件については、事務所移転の案もあるため、今月末まで保留とする。鶴間会員の協力のもと、9月中に移転先を探していくこととする。
4. 会計報告書について。今後は、地区セミナー等登録料の勘定科目は、渉外費で処理するのではなく、各委員会費用に計上する。(ex. 委員会セミナーなら、米山奨学委員会を含むロータリー財団委員会の科目で処理)
5. その他



9月18日

8件 22,000円／本年度累計 305,000円

多額のご寄付をありがとうございました。(敬称略)

西澤民夫／松本さん、ご苦勞様です。本日、科学技術振興機構のプレゼンで超小型（10cm 立方）の人工衛星の話しを聞いてきました。いろいろなベンチャーがあるものだと感心しました。 尾関武男／本日ニコニコご苦勞様です。 小原健／政治は初物に期待です。 武下朗／松本さん、ニコニコご苦勞様で～す。 庄司泰典／9月20日より3泊4日で大連へ行きます。古戦場の旅順へも行きます。 荒木昭文／皆様、本日のクラブ協議会よろしくお願い申し上げます。 四分一勝／本日のクラブ協議会よろしくお願い致します。 石井謙次／長谷川さんから声を掛けられて。岩上さんありがとうございます。 岩上義明／先週は家族旅行で、ワシントン DC、ニューヨークを楽しんで参りました。でもやっぱり日本はいいですね。 長谷川弘志／チケットご購入ありがとうございました。 松本智／本日も多数のニコニコ有難う御座いました。

●次回予告／2009年10月9日 第1087回 例会

卓話予定 『銀座の職人技』

株式会社 壹番館洋服店 代表取締役 渡部 新 氏